

高齢者の方への気遣い

伊勢原市立成瀬中学校

三年 中島 陽

日本は今、高齢化社会にあります。そして

今後、この高齢化は年々増加し働き手も減少

していくと予測されています。ですが、この

高齢化社会を過いかけるように日本のA I等

の技術も日々進歩しています。最近のもので

いうと、セルフレジや木コ型配膳ロボットな

どが挙げられます。これらは、働き手不足を

解消するためにつくられ、多くの場所で使われ

ています。しかし、人々が使っている場面を

見てみると高齢者の方には使うことが難し

く困っている人も多く見かけます。これは日

本の高齢化社会にとって良いことなのでし

うか。

飲食店に行くと、店員さんではなくねこ型

配膳ロボットが遇んできてくれることが多く

なりました。料理が来る、料理とオーダー表

を取る、完了ボタンを押すの動作を私たちは

簡単に行います。しかし、高齢者の方を見てみると、料理が取りづらかったり完了ボタンが分からなかったり、少し困っている様子が見られました。働き手不足を解消することができる反面、やはりこのような問題点も発生してまいります。

そこで私は料理を注文する際に、店員に遇んでもらった方が良いか、ロボットでも良いかを一つ聞くことで問題点も改善されるのではないかと考えました。そうすると、ロボット

トでも良い方には店員さんが行かずにその間にロボットでは難しい方には直接遇んであげられることができると思いました。ネコ型配膳ロボットは、音が出て、人を感じることができ、非常に安全で便利なものです。ですが、どうしても、使用することが難しくなったり困ったりします。たりする場面も起きてまいります。

そういう時に、人間が直接行ってあげることが今の高齢化社会にとっても良いことなのだと感じました。

セルフレジにも同じようなことがいえると思
います。セルフレジは大いに業務を削減す
ることかできるため取り入れ始めるお店も徐
々に増加しています。私も買い物物に行っ
たとき、ここもセルフレジになっただと思
うことが多くなりました。しかし、あるお店
に行くとセルフレジで列ができていました
。先頭を見ると高齢者の方が使い方に困
っており、店員さんも気づいてあげること
ができていませんでした。少しすると、店
員さんが気づき手伝いながら行うことが
できている使用方が分からないと時間もか
かり自分で行うのは難しいと思いました。
だから全てを機械に任せるのではなく、一
人でも手伝ってあげることのできる人が
いたとしても改善されると改めて感じまし
た。機械を使うことは効率的でも便利なこ
とだと思います。しかし、臨機応変に
対応できる点は人間にしかありません。こ
のあたりの気づきを通して、

これらより、私は高齢化社会だから働き手
も少ないとありますが高齢化社会だからこそ
人の手で支え合うことが大切なのではないか
と思いました。AI等の機械に任せすぎてい
る環境が高齢者の方々を少しではあるが過ご
しにくくしてしまっていると思います。今の
生産年齢の方々は、普段から使い慣れている
人が多いので将来高齢者になり、環境が進化
しても付いていくことができると思います。

だから、今の私たちが今の高齢者の方々に手
を差し伸べて助けることはたくさんあると思
います。現在、機械に頼りすぎている世の中
だからこそ人間だけが持つている心で助け合
っている、環境をつくれると良いと思います。